



7月の行事より

授 業

蔵持小学校コミュニティスクール ～地域と子ども達との体験学習～

蔵持小学校

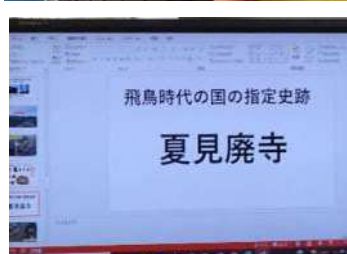
田んぼ観察 ～蔵持小学校5年生～

7月3日(木)、蔵持小学校5年生28名が自分達で苗を植えた田んぼを観察しました。

田んぼに到着して直ぐ、講師の坪田正博さんや田中豊成さんが当日朝早く採集した水槽の中のザリガニ、エビ、タニシ、オタマジャクシを観察しました。

また、坪田さんから、田んぼには色々な生き物がいることや田んぼは大雨が降ったとき雨水を貯めて洪水を防ぐ役割もしていることも教えてもらいました。

話を聞いた後、子ども達は、元気に伸びた稲と水がはってある田んぼの中に何かいないかと観察していました。稲作体験を通して、色々なことが勉強できていいですね。



古代の歴史 ～蔵持小学校6年生～

9日(水)、蔵持小学校6年生32名が、蔵持市民センターの「歴史講座」の講師をされている高見省三さんから、蔵持小学校の近くにある弥生時代後期の塚原遺跡・蔵持黒田遺跡、そして鎌倉時代の鉄さいが出土する蔵持原出遺跡について教えていただきました。

また、塚原遺跡と同じ頃に存在していた邪馬台国の幾内説・九州説の話や名張市内に存在する縄文時代の下川原遺跡や夏見廃寺についても話をされ、高見さんは「近辺には貴重な遺跡があります。今日の話で歴史に興味をもって勉強してくれたら嬉しい」と思いを伝えていました。

最後に、高見さんが持参された塚原遺跡や黒田遺跡から出土した土器や夏見廃寺埴仏のレプリカに興味深く見ていました。